

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立障害者グループホーム南青山						
指定管理者	社会福祉法人大三島育徳会						
指定期間	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 17 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	8	8	0	5	1	4	0	13
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		3						

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
入居者数（人）（精神障害者）	5					定員5人
入居者数（人）（知的障害者）	5					定員5人

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
経費実績	収入	88,048,241	0	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	66,549,576					
	利用料金収入	20,386,045					
	その他収入	1,112,620					事業収入
	支出	86,701,322	0	0	0	0	
	職員人件費	63,968,819					
	光熱水費	4,223,891					
	修繕費	33,000					
	事業運営費	6,570,960					
	施設管理経費	10,833,184					
	その他経費	1,071,468					
	差引収支額	1,346,919	0	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料	66,616,576						

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	1 / 5	×5 5 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	1 / 5	×1 1 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	3 / 5	×3 9 / 15
区による評価合計点				70 / 100	

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、

該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	開設初年度であり、新規のご利用者様を順次お迎えするため、お一人おひとりを深く知ることから始めました。港区の調査票を基に詳細なアセスメントと面談を行いました。「その人らしさ」や「大切な思い」を理解し、個別支援計画に反映し実行しました。部屋の片付けや洗濯などをただサポートするのではなく、個々のペースを見守り、困っている時に「さりげなく手助けする」という自立支援に注力しました。また生活リズムを整え、日中活動に安心して出発できるよう支援しました。そして誕生日会、季節の行事や外出イベントなどを通じ、「笑顔で過ごせる温かい我が家」になるよう取り組み、職員との関係を築きました。さらに看護師を配置して健康管理に尽力し、安心・安全に暮らせる環境を守ることができました。
区（施設所管課）による評価	障害者グループホームとして知的障害者および精神障害者の生活の場を提供するとともに、複合施設の中心的な管理者として維持管理を行い、事業計画に基づいた適切な施設運営を行うことができました。開設1年目であり、不測の事態にも臨機応変に対応し、施設の安定的な運営の基盤づくりに取り組みました。手厚い支援が必要な利用者への対応に課題が生じましたが、区と連携して対応に当たるとともに、担当職員が主体的に考えて支援することができました。 今後も、引き続き安定した施設運営に尽力するとともに、提案である家族との連携やレクリエーションの充実、交流活動等に努めていくことを期待します。そのほか、精神障害者入居者への計画的な支援や高齢化支援、稼働率向上等の課題について、主体性をもって取り組む必要があります。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）